

## 後期基本計画第4次実施計画(案)に対する意見及び市の考え方一覧表

No	区分	計画(案)該当箇所	ページ	ご意見の概要	市の考え方 (対応内容、計画案の修正等)	計画案 修正の有無	担当課
1	パブリック コメント	施策1-4-2 基本事業(3) 情報通信システム のまちづくりへの 活用	45	施策公開やパブリックコメントの実施は進めていくべき要素ながらも、くれぐれも「受信」にも配慮をした上でのものを執り行ってもらいたい。	当市においては、パブリックコメントや施策の公開に対してより多くの市民の皆さんに情報を発信するため、市の様々な情報をホームページや広報かまがやに掲載しています。パブリックコメントによる行政側の受け取り方(受信)については、窓口で提出できるほか、郵便、FAX、電子メールなども利用できる仕組みとなっております。	無	情報推進室
2	パブリック コメント	施策2-2-2 快適な公園・緑地 環境の整備	57	鎌ヶ谷には幾つかの川の源流・上流部がある。その沿川部には残念ながら耕作放棄地になっている所がある。また、谷戸周辺のがけ地には多くの緑が残っている。これらを保存・活用すべきである。緑の保全のためにも、防災上からも住宅地に造成するべきではない。川の源流・上流部およびその周辺部の耕作放棄地やがけ地を公園・緑地として整備すること、あるいは復元・保全する施策を構築することを要望する。	市域の緑は、市街地周辺の農地・樹林地等と台地を刻む河川・水路や斜面林などで構成されています。宅地開発等により谷津や樹林地は減少していることから、積極的に緑を保全し、様々な動植物が息づく環境共生都市を形成していく必要があることから「鎌ヶ谷市緑の基本計画」を策定し、緑の保全と創出に取り組んでいるところです。緑の保全及び緑化の推進のための施策の実現に向けて、後期基本計画第4次実施計画(案)では大津川上流に位置する粟野地区公園の第二期整備計画を実施することにより、谷津周辺の斜面林や耕作放棄地の保全、再生を目指しております。	無	公園緑地課
3	パブリック コメント	施策3-1-1 基本事業(1) 広域交流拠点の 基盤づくり	78	多額の経費を要する事業の「新鎌ヶ谷駅周辺地区市街地整備促進事業」において、新鎌ヶ谷特定土地区画整理区域に接する西側地区について、市街地整備の実施に向けた調査を行う、とあるが、ようやく着手されるようで非常に良いことかと思う。一日も早い区画整理事業開始を希望する。計画にあたっては北初富エリアや、千葉北道路計画地も含む一体的広域的な開発によって、新鎌ヶ谷の魅力が盤石になるものと期待している。	新鎌ヶ谷西側地区における市街地整備につきましては、今後予定しております調査により、地区の状況や関連事業との整合性を図り、整備手法も含め検討してまいりたいと考えております。	無	都市計画課
4	パブリック コメント	施策3-1-1 基本事業(1) 広域交流拠点の 基盤づくり	78	新鎌ヶ谷西側エリア、特に北初富周辺は既存のいずれの小学校中学校からも遠く、近隣の児童父兄は不便を強いられている。また、中心地域の過密による学区変更などの問題も生じている。そこで、新鎌ヶ谷西側エリアの区画整理にあたり、小中一貫校を新設することを提案する。一貫校の設立で文部科学省からの補助が増えると同時に、先進的な教育施設設置による鎌ヶ谷市のイメージ、及び新鎌ヶ谷西側エリアの魅力がより高まるとされる。財源的に厳しい折とは思いますが、よろしくご検討願いたい。	現在、新鎌ヶ谷地域及びその周辺において児童数が増加し、通学区域の見直しを検討せざるを得ない状況となっております。小中学校の通学距離については、国の示しとして「小学校にあつてはおおむね4キロメートル以内、中学校にあつてはおおむね6キロメートル以内であること。」とされておりますが、ご意見をいただきました北初富周辺や新鎌ヶ谷西側エリアからは指定の小学校への通学距離は、2キロメートル以内となっており、第4次実施計画期間においては、既存の施設での対応を優先的に行ってまいりたいと考えております。また、新鎌ヶ谷西側エリアの区画整理に伴う小中一貫校の検討については、今後の計画において、貴重なご意見として承ります。	無	学校教育課
5	パブリック コメント	施策3-1-3 基本事業(1) 都市軸の整備	81	多額の経費を要する事業の「都市軸形成促進事業」において、決定した初富駅前広場の整備方針を基に、測量及び用地取得をし、保全工事を行う旨、記載がなされているが、整備方針が広く広く公開に至っていない点が非常に「市民との情報共有の推進」を掲げるものと矛盾しているように思う。	初富駅前広場の整備方針につきましては、今後とも市民との情報共有に努めてまいりたいと考えております。	無	都市計画課
6	パブリック コメント	施策3-3-1 基本事業(1) 担い手の育成・販 路の拡大	90	インターネット梨販売事業について、関東圏外にマーケットを絞る点では評価できるが、補助金で安く提供して下地をつくっていくという手法には非常に疑問を感じる。	本市を取り巻く農業の現状といたしまして、農業者の高齢化や後継者不足に伴う労働力不足が懸念されております。このような環境の中、市場価格の下落等による収益の不確かさは、将来を担う若手世代が農業を敬遠する要因となり得ることから、「稼げる農業」のビジョンを明確化すべく、安定的な収益の確保に向けた販路拡大が急務となっております。その一つの手法として、実施計画記載の「インターネット梨販売事業」が挙げられますが、ネットサイト開設費用や事務費用等が発生することから、固定客を持たない現状では、事業が安定して軌道に乗る前に立ち行かなくなる可能性があります。コストの回収も含め、将来的に農家団体が自立して安定的な収益を確保できるよう、市ではサポートを行ってまいります。	無	農業振興課

## 後期基本計画第4次実施計画(案)に対する意見及び市の考え方一覧表

No	区分	計画(案)該当箇所	ページ	ご意見の概要	市の考え方 (対応内容、計画案の修正等)	計画案 修正の有無	担当課
7	パブリック コメント	施策3-3-2 基本事業(3) 観光の振興	94	観光ビジョン推進事業における札幌観光イベント、沖縄観光イベント等の各種観光振興事業について、持続的にアクションを起こすだけでなく、費用対効果など考察を踏まえて、投資に見合うものであることを提示してもらいたい。	「施策3-3-2基本事業(3)観光の振興」の成果目標には、鎌ヶ谷市への入込客数とふるさと産品の認定件数が指標として上がっております。限られた予算と既存の観光資源の中で、より多くの人を誘客し、市内産業への経済波及を図るためには、ターゲットを見定め、より効果的なPRの実施が必須と考えます。そうした中で、北海道日本ハムファイターズを共通の資源とする、日本の北と南に位置する札幌及び沖縄をターゲットにPRを実施しております。	無	商工振興課
8	パブリック コメント	政策3-3 活力ある産業を育 成します	95	産業育成についての計画が弱い。もっと重要視するべきである。補助金などの事項はあるが、鎌ヶ谷の特性を生かした産業政策を展開するべきである。例えば、「すでに蓄積のある食料品製造業などのさらなる強化に向けての施策の構築」や「今後道路条件などをさらに整備することと合わせ、交通の利便性を生かした産業の育成や誘致」など。	中小企業資金融資制度等、既存の支援策と併せて、今後、企業誘致推進計画に基づきハードとソフト施策を推進することで、鎌ヶ谷の特性を活かした産業育成に努めてまいります。また、国の認定を得て創業支援セミナー等を実施することで、起業の促進を図ります。	無	商工振興課
9	パブリック コメント	施策4-1-1 基本事業(2) 市民参加の促進	101	パブリックコメントの推進について、後退させてもらうことを望むわけではないが、あくまでも成果目標値として掲げられている数値と実績値の乖離について、何も講じるものもないままに押し進めていくのは、本意なものではないだろうか。見直すべき点が潜在的にあるのではないと思われる。	パブリックコメントは、市民の市政への参画の促進及び市民との協働によるまちづくりの推進を図ることを目的とした制度で、市の広報及びホームページへの掲載や市内の公共施設に計画等を配置することで、市民の方から広くご意見をいただいております。引き続き、多くの市民の方からご意見をいただけるよう、平成32年度の目標値(1回あたりパブリックコメント意見件数:30件)を目指して取り組んでまいります。	無	企画政策室
10	パブリック コメント	施策4-1-1 基本事業(4) 市民との情報共有 化の推進	102	ホームページ運用やインターネット議会中継事業による情報提供・公開を進めていくのと同時に、「共有」に至る受信をどのように果たしていくのか。解消していく術がないままであることは懸念すべき条項であり、そういうものが意識されないのであれば、「共有」には至らず「一方通行」の部分に否めない。	市ホームページには、各課へのお問い合わせメールなど、市民から情報を受ける機能は現在でも備わっており、活用されています。なお、基本事業(4)の「市民との情報共有化の推進」は、行政情報の効果的な提供が趣旨であり、市民参加の具体的な成果については、基本事業(2)や(3)の各事業で図られるものと考えております。	無	広報広聴室 議会事務局